

第2回

米沢市公共施設ワークショップ

日時:平成 28 年 9 月 13 日(火)
18 時～21 時

場所:伝国の杜 小会議室

◆◆目次◆◆

- | | |
|---------------------|---|
| 1.米沢市公共施設ワークショップの概要 | 1 |
| 2.本日のスケジュール | 2 |
| 3.ワークショップの手引き | 3 |

米沢市役所 企画調整部 総合政策課

〒992-8501 山形県米沢市金池 5-2-25

TEL:0238-22-5111 / FAX:0238-24-4540

米沢市公共施設ワークショップの概要

1. 目的

市民と、米沢市の公共施設やインフラの現状と課題を共有し、今年度に策定をする「公共施設等総合管理計画」の取組について理解を深めてもらうとともに、このワークショップで得られた意見を米沢市公共施設等総合管理計画策定の際の基礎資料として活用し、計画に反映することを目的とします。

2. 全体スケジュール

回	開催日時	概要
第1回	8月25日(木) 18時～21時	1 公共施設の現状と施設再編の取組事例について (講師:鈴木 利勝氏) 2 米沢市の公共サービスについて意見交換 第1回で配布する資料中の各サービスを以下の3つについて検討する。 ①サービスの提供する場所(サービスが必要な圏域・理由、特徴) 自分が住む地域、隣の地域、市全体、近隣市町村 ②サービスの行政の関わり方(行政による提供が良い理由・民間による提供でもよい理由) ③サービスの組み合わせ(組み合わせた方がよい理由) 3 各班の発表
第2回	9月13日(火) 18時～21時	1 20年後の米沢市(施設再編シミュレーション) 施設の維持保全・複合化等による有効活用、無駄・不要な施設の廃止、民営化などの多様な手法を用いてシミュレーションを行う。対象施設(「施設・建物」と「サービス・機能」)について1回目の結果も踏まえ作業を行う。 2 各班の中間発表(グループの方向性とコンセプトの決定)
第3回	10月5日(水) 18時～21時	1 20年後の米沢市(施設再編シミュレーション) 2回目に引き続き、最終発表に向け作業を行う。その際に、今回の施設再編シミュレーションを実施することで、不都合に感じる利用者の視点や問題点などがないかなど、多様な利用者の視点(様々な世代、性別、暮らし方・働き方など)から再検討する。 2 各班の最終発表

本日のスケジュール

18:00～

1. 開会
2. あいさつ

18:05～

3. 前回のおさらい



18:25～

4. ワークショップの説明



18:40～

5. 個人ワーク



18:55～

6. グループワーク(途中で休憩をとります)



・個人での検討内容をグループで共有し発表の取りまとめをします。

20:00～

7. 各グループの発表(コンセプトの発表)



・各グループが話し合った結果を発表し、全体で共有します。

20:30～

8. 講評



20:35～

9. 検討シートの作成

10. 閉会(次回の予告)

第2回公共施設ワークショップの進め方

1. 第2回公共施設ワークショップの内容

第2回、第3回では『施設再編シミュレーションゲーム』を実施します。このゲームでは、参加者の皆さんが「20年後の米沢市民」となり、理想的な公共サービスのあり方の検討、市内の老朽化した公共施設の再編に取り組んでいきます。

第2回の最後に、グループでの施設再編のコンセプトと再編の考え方を発表していただきます。『より良い米沢市』にするためにはどうすれば良いかをグループ内で共有し、グループとしての方向性を決めてください。

2. 前回のおさらい

施設再編シミュレーションゲームを行っていただく前に、前回のワークショップのおさらいを行います。前回各グループで作成した「サービス検討シート」を見ながら、どういった考えで

1. サービスの提供場所
2. サービスの行政の関わり方
3. サービスの組み合わせ

を検討したのかを振り返ってください。

そのうえで、どういった考えで施設の再編を行うべきか（再編のコンセプト）を考えてみましょう。

3. ゲームの概要

ゲームは、建物カードとサービスカードを公共施設に見立てて、各カードの配置やあり方の工夫で施設再編手法を考えながら、市民にとってより良い公共施設の再配置を目指すと同時に、可能な限りトータルコスト(ポイント)を減らしていくものです。

今回は、以下のような検討のルールで『必要なサービスの水準を維持しながら、コストを軽減すること』を目標に取り組みます。

表 シミュレーションの検討ルールの概略

参加者の役割	20年後の米沢市民になったつもりで意見を交換
設定時期と市の人口状況	20年後の米沢市 【総人口】(米沢市人口ビジョンより) H27年からH47年において、総人口は、13,226人減(約15%減) 0～14歳の人口は、1,143人減(約11%減) 15～64歳の人口は、12,080人減(約24%減) 65歳以上の人口は、4人増(約±0%) また、H47年において総人口に占める65歳以上の割合は、約34%増 【児童生徒数】(米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画より) (小学校児童数)H28 4,319人→ H34 3,688人(15%減) (中学校生徒数)H28 2,380人→ H37 1,999人(16%減)
検討条件	各施設のトータルコストをポイントに置き換え、建物とサービスを最適な状態になるよう、ポイントを削減する
検討する施設再編の手法	・サービスの廃止 ・サービスの移動 ・施設の廃止 ・サービスの民営化 など ※第3回では、ボーナスステージとしてルールの追加(土地の売却や新規サービスの提案など)を予定しています。

4. ゲームの実施手法(カードの種類と動かし方)

1) 建物カードとサービスカードについて

- ・公共施設は、建物カード(赤色・青色) と サービスカード(黄色) のセットで成立しています。
- ・建物カードは建物の大きさ(大・小)と建築年数(新・古)に応じて、全部で4種類あります。
- ・建物カードには廃止によるコスト削減ポイントを以下のように記しています。

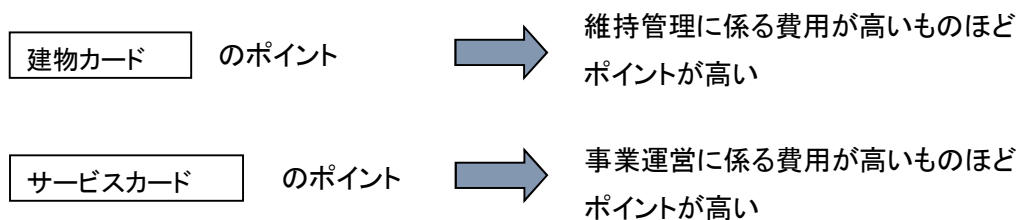
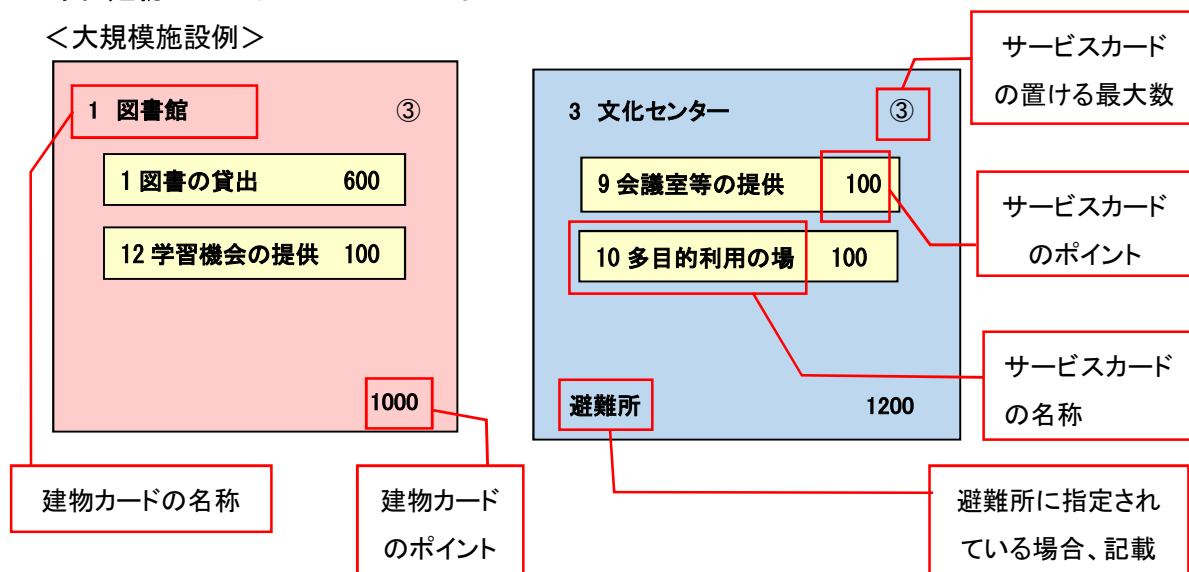
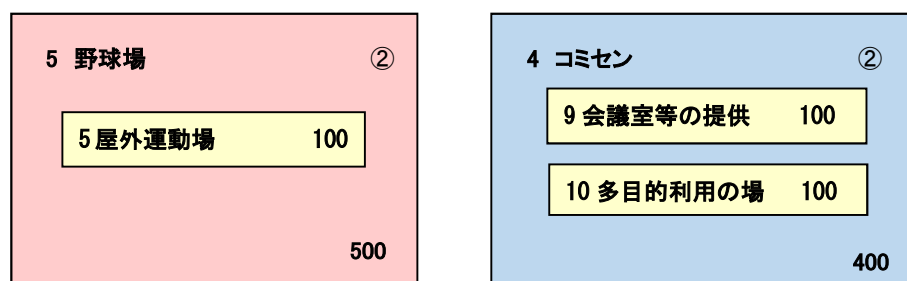


図 建物カード・サービスカードのイメージ

<大規模施設例>



<小規模施設例>



※赤い建物カードを築30年以上の古い施設、青い建物カードを築30年未満の新しい施設とします。

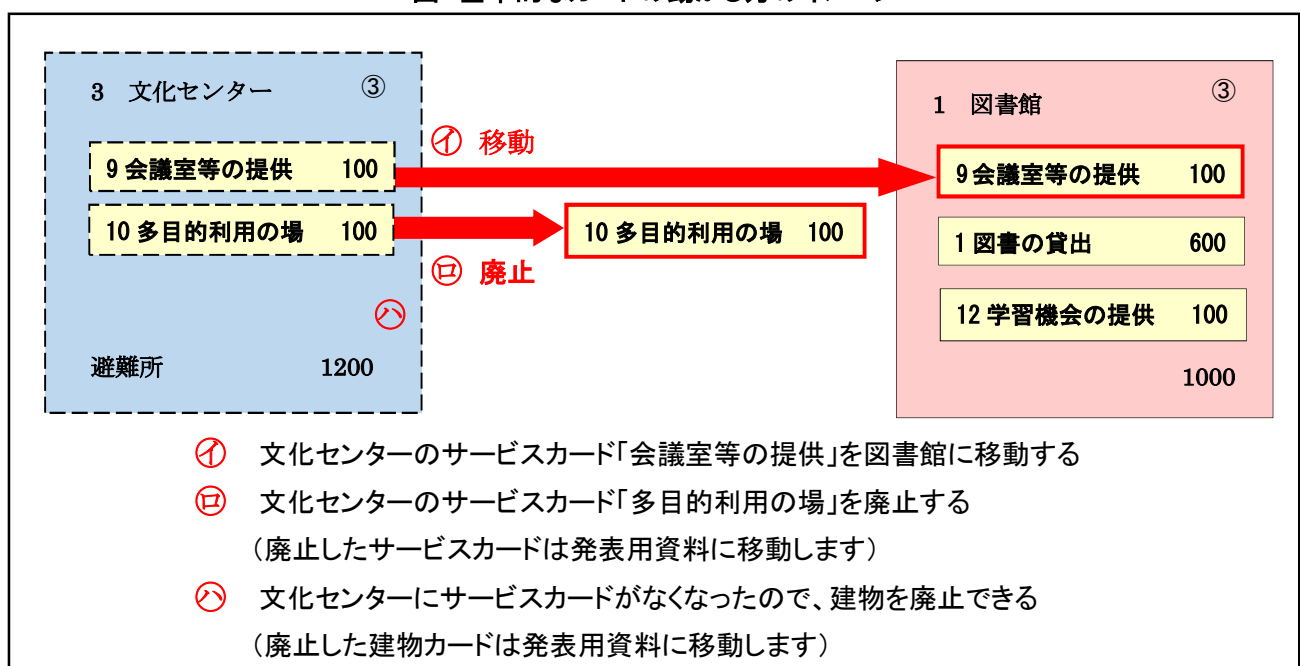
2) 基本的なカードの動かし方

- ・サービスカードは、廃止（取り除くこと）や移動（他の建物カードへ移すこと）ができます。
（廃止したサービスカードは発表用資料に移動します）
- ・サービスカードは、建物カードに書かれたサービスカードの置ける最大数以上は載せることができません。
- ・サービスカードは、他の建物カード上に空きがある場合のみ、その建物カードへ移すことができます。
- ・建物カードの上にサービスカードがなくなったら、建物を廃止することができます。
（廃止した建物カードは発表用資料に移動します）
- ・建物カードは、地図上の他の場所へ移動することはできません。

【廃止と移動のルール】

	廃止（取り除くこと）	移動（他へ移すこと）
建物カード	○できる ※サービスカードが残っていると 廃止できません	×できない
サービスカード	○できる	○できる ※他の建物カード上に空きが ある場合

図 基本的なカードの動かし方のイメージ



5. コンセプトと再編の考え方の発表

シミュレーションゲームを進めながら、各グループで今回の発表資料をまとめます。その際に下図を参考にグループのコンセプトを決めてください。

図 中間発表資料のイメージ

〇〇班 コンセプト 『 再編後のまちの魅力を一言で！ 』						
再編の考え方		どういったことに配慮して、施設を再編するのかを書いてください				
	削減					
	施設		サービス			
	カード	理由	カード	理由		
カード						
理由						
ポイント						
合計						

発表は、1グループずつ行います。発表の内容は、グループが何を目的に、どんな米沢市にしたいのかというグループのコンセプトと再編の考え方です。

6. 検討シートの質問事項の決定

次のワークショップに向けて、今回検討シートを配布します。ご家族や、周囲の方の意見を検討シートに収集し、次のグループワークに役立てていただきます。

なお、設定された7つの質問のほかに、グループ内で質問を3つまで設定していただきます。ご家族や、周囲の方へ聞いてみたい質問をグループ内で話し合ってください。

例) ・20年後の米沢市はどうなっていると思いますか？

・施設を再編するうえで大切にすべきだと思える考え方は何だだと思いますか？

・学校の図書館や体育館などを市民へ開放することについて、どう思いますか？